

人口5万人「阿見市」をめざして提言を続けます

阿見町の人口推移

年	1/1 人口	増加数	自然増減/年度		社会増減/年度	
			出生数	死亡数	転入数	転出数
2000	46,582	基準年				
2001	46,913	331	460	318	2,666	2,629
2002	46,970	388	459	337	2,781	2,846
2003	47,082	500	443	338	2,812	2,805
2004	47,366	784	404	329	2,942	2,733
2005	47,697	1,115	449	332	2,972	2,758
2006	47,870	1,288	406	368	2,617	2,860
2007	47,687	1,105	400	375	2,500	2,708
2008	47,693	1,111	363	378	2,668	2,647
2009	47,780	1,198	409	426	2,644	2,540
2010	47,698	1,116	392	412	2,410	2,472
2011	47,897	1,315	395	419	2,203	2,206
2012	47,861	1,279	358	437	2,203	2,160
2013	47,689	1,107	380	433	2,091	2,210
2014	47,744	1,162	345	440	2,232	2,082
2015	48,059	1,477	372	429	2,223	1,851
2016	47,504	922	355	477	2,077	2,016
2017	47,478	896	371	458	2,017	1,956
2018	47,495	913	331	466	2,144	1,992
2019	47,576	994	325	523	2,287	2,008
2020	47,803	1,221				

左の表は、2000年から2020年までの阿見町の人口推移です。2000年から5年間で1,115人増加しますが、それから15年間で106人しか増加していません。(1月1日人口)

大きな原因は、出生数の減少にあります。2000年の出生数は460人でしたが、2018年度には325人に減少してしまいました。一方、死亡者数は318人から523人と大きく増加しました。2008年を境に自然減が顕著となりました。

それに比して、転入・転出の社会増減は、2013年までは増減がありました。2014年を境に転入増加傾向に転じています。ここ2、3年はほぼ200名の転入増となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の最新の推計によると阿見町の2050年の人口は現在よりも10,000人も少ない38,247人と推計されています。団塊の世代を中心に高齢人口が急速に増加する一方、出生数の減少には歯止めがかからないと推計されています。

これからの5年間は阿見町にとって市制施行の最後のチャンスとなる「きわめて重要な5年間」となる可能性があります。「高齢者には生き甲斐を持って健康で長生きをしてもらうこと」「若い世代が安心して子育てができるよう強力的に支援すること」「空家等の利活用に本格的に取り組み安価で優良な住宅を提供すること」「企業の立地に引き続いて取り組むこと」「文化の香り高いまちをめざすこと」などが重要です。

こうした政策を、執行部と議会が車の両輪で取り組んで行く先に、人口5万人の「阿見市」が見えてきます。そのために必要なあらゆる政策を提言して危機感を持って取り組む決意です。

海野隆の議会報告・政策提言

●更なる議会改革と審議の充実

- 日曜議会と夜間議会の実現
- 会派制の導入による政策論議の推進
- 少数精鋭議会へ定数削減と報酬見直し
- 議会と町民の対話を推進する

●阿見町の産業基盤を強化する

- 圏央道牛久阿見インター周辺の活用
- 荒川本郷地区の整備促進
- ひたち野うしく駅近接地区の開発
- 霞ヶ浦沿岸の観光開発
- 地域振興公社の設立と農業再生
- ふるさと納税の推進

●町民参加を進め自治を高める

- 住民参加と自治制度への転換
- 地域型予算の配分推進
- 期日前投票バスの運行

●福祉の充実と利便性を高める

- 高齢者の安心をつくる介護予防の充実
- 障がい者施設の誘致整備
- 町内各地を結ぶ循環バスの運行

千葉町長と手を携えて



議会と執行部は車の両輪です

●子育て支援と教育を充実する

- 病児・病後児保育施設の開設充実
- 子育て支援と基礎学力の充実
- 全天候型学校プールの整備
- 給食費の無料化拡大

●文化芸術及びスポーツの振興

- 温水プールや総合体育館の新設整備
- 廃校を利活用した歴史民俗資料館の整備・古民家の保存利活用
- 音楽、美術等の芸術文化の振興

●快適な生活の利便性を高める

- 遅れている上下水道整備の一層の推進
- 都市計画道路の早期の整備
- 四メートル以下の生活道路整備推進
- 身近な自然の保全と利活用
- 県人会結成への助成金支給

●ムダを省き行財政を改革する

- 広域行政の一層の推進と行財政改革
- 入札制度の見直しとムダの排除

ご意見をお寄せ下さい ☎090-1548-5294
sougousenryaku@gmail.com 海野 阿見検索